

花壇並に花壇用草花年中行事

—(五) 月—

日比谷公園花壇掛 富 本 光 郎

朝顔の播種

朝顔の播種は今月十日前後を適期とする。蔓性のものであるから模様花壇等には向かないがアーチ、パーゴラ或は垣根等からませて夏の涼味をそよる花物として少しでも用意しておきたいものである。

深さ二寸五分位の箱蒔きとし發芽すれば一旦徑三寸五分位の鉢植として灌水を控へ太くしまつた苗に仕立てる様に心掛け此鉢に根が十分張つてから(其頃は本葉五、六枚になつてゐる)花壇に植出す様にする。

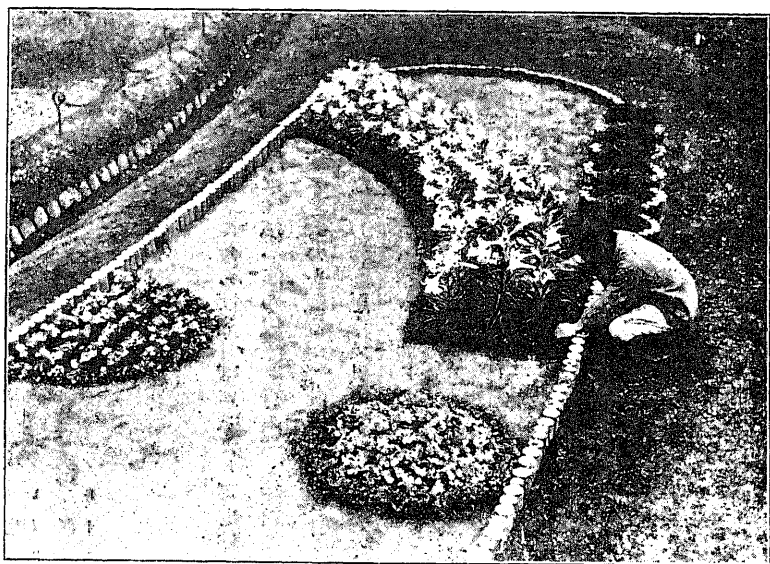
此の如くにして育てたものは極くしつかりとした苗となり蔓もひどく伸長せず地へ下してから十分肥料を施せば鉢

で下手に作つたよりはすつと出來のよいのびくとした大花を開くものでこれが一面に咲いた時の夏の朝の眺めはすばらしいものである。

初夏の花壇の植付開始

トリテリヤ、シレネ、ストツク、シネラリヤ、ポリアンサス、等春咲の草花で比較的開花期の短いものは今月中旬には花を終り其他のものも下旬に入れば花數も少なくなり形も亂れて來るから花の濟んだものから順次抜き取つて次の如き初夏に咲くものと植換を行ふ、

(但しクロツカス、ヒヤシンス、チウリツブ、アネモネ水仙等の球根類は花が濟んだからとて直ぐ抜き取ると球



壇花の夏初たしと主を合百砲鐵

の勢力が衰へるものであるから之等は少し花壇の體裁が悪く共結實せしめない様花梗は切り去り葉が黄褐色になる六月中旬頃までその儘置いて十分球根に營養分を吸収して充實せしめておく

初夏の花壇用草花

丈七寸——一尺二、三寸位のもの

▼ガレット——宿根草(冬はフレイム内)——秋挿芽

鐵砲百合——球根——新植付

美女——宿根草(冬はフレイム内)——秋挿芽又は播種

フロックス——二年草——秋播種

ビスカリヤ——二年草——同

金魚——宿根草(東京附近ニシテハ宿根困難ナリ)——同

矮性金蓮花——一年草——春同

丈五寸前後のもの

姫松葉蘭宿——根草草(冬ハフレイム内)——秋挿芽

ペゴニヤ、セン——宿根草(冬ハフレイム内)——秋挿芽又は播種

ロベリヤ——二年草

カンゲヌラ——宿根草(冬はフレイム内)
 カーパーチカ——宿根草(冬はフレイム内)

秋播種
 フレイム内

秋播種
 フレイム内

春蒔草花苗の假植

彼岸前後に播いたものならば先月下旬頃より可成伸長して来るから一旦床にて第一回の假植を行ふ。(種類によりもつと早く假植すべきものもあるが)此假植が後れるとひよろ／＼した苗になつて形も悪く又風に倒れ易い弱い苗となるから出来る丈早く行ふべきである。

前にも書いた様に花壇用草花は大きくなつてから花壇に定植するものであるから其時植傷みしない様二回以上の假植が必要で十分に細根を發生せしめるため假植床をよく耕転し土を細かく碎いてやる様にすると十分日財をよくして上へ伸びるよりは葉張を十分にするため種類にもよるが株間を十分にとつておく様心掛くべきである。

アルターナンセラの準備

アルターナンセラは秋の模様花壇には是非なくてはならぬ観葉宿根草でこれがなくては秋の花壇は出来ないと言はれる位必要なものである。

現在日本には五種類ばかり栽培せられ草丈は三、四寸、色は紅紫、紅橙、橙褐、黄褐黄等で葉は細かく密生し時々剪定によつて整然とした形に仕立てられ花壇の縁取りとしても又大面積の花壇に極めて精巧な模様を出すにも或は巾二尺位の細長い花壇にも葉の細かい種類を使へば充分面白い模様が現はせる極めて便利なものである。

此ものゝ欠點は冬寒さに弱いこと、華氏五〇度以上の温度を常に保たしめないと枯損するものであるから温室にて保護しなければならぬ事である。

然し一旦春まで越すと一株から非常に多くの苗が得られ短期間に容易に繁殖することが出来る。

簡単にこれの繁殖法を記して見ると本月上旬頃フレイムの中よく肥沃な土を入れて床を造り温室から出して植えて置く。其後温度の上るに従つて新芽をふいて来るからその芽をフレイム内又は露地にて砂質壤土に挿芽すれば殆ど百

發育中に活着するので此時大體一株より十五乃至二〇芽をとることが出来る。

又芽をとつた古株は十日ばかり其儘にしておくと新芽をふいて来るから之を十株位に分けて露地に植出すことにすればこれで昨年の一株より約三〇株に殖えた割合となる。

挿芽したものも六月十日頃までには十分根を下すからこれはよく耕した床に植付けてやる。

此の如くにして此三〇株は七月中旬には皆各々二株宛に株分する事が出来るに至り六〇株となる。之等を一週間に一回位の割合にて十分液肥を施せば極めて成長早く八月中旬に今一回株分すれば一二〇株を得られる譯でこれは八月下旬より九月上旬にかけて花壇に定植することが出来る程度に育つものである。

つまり前年温室に十株保護して置けば今秋は優に千二百株に繁殖し得るもので栽培は極めて容易なものである。

尙これを作る上に注意すべきは形をよくするために時々剪定すること、一週間毎位に怠らず、肥料を施すことである。

其他の作業

一、何よりも花壇をきたなく見せるのは雑草であるから常に怠らず抜き取ること。

一、病害蟲が猛烈に發生し繁殖する時期であるから常に心掛けてその種類により適當なる藥劑にて驅除豫防をなし或は捕殺する。

一、下旬頃にはダリヤは一尺位に成長するから風に倒されない様早く支柱立をなす。

一、牡丹は花の濟んだ下旬より來月初旬にかけて株の周りを浅く掘り、人糞尿又は油粕其他の液肥を一回施しておく。之は花後の衰へを回復せしめ又夏の間の養ひ料とせんがためである。